

2015 Autumn

2015 年秋のストリートスタイル総括レポート

JFA「style-arena」Report 2015-16 WINTER

www.style-arena.jp

ストリートから東京の今を伝える情報サイト

 style-arena.jp

 JFA

一般財団法人 日本ファッション協会

2015年秋のストリートスタイル総括レポート

2015年秋のモード界では、ノームコアに続き Banality（ありふれた）というキーワードも囁かれるなど、さらに平凡が良いという風潮が広まった。ストリートでも引き続きシンプルな装いが多く、奇抜なものは出づらい状況だ。

その中で、逆に注目されているのは素材感やディテール、シルエットなど。小物への関心も大きくなっている。今シーズンでは特にニットのベストやパンツなどが人気で、トレンドのガウチョパンツ～ワイドパンツでもニット素材のものをよく見かけた。また、昨年流行したタートルネックは、今シーズンは短めのモックネックとなり継続している。また、シンプルなスタイルでアクセントとなる帽子は、ここ数年、形や素材を変えながらもハット人気が続いていたが、この秋は久しぶりに変化が見られた。一番人気はベレー帽。特にレディスでは後ろ髪まですっぽりと入るくらい大きめなモノが人気だった。

カラーも同様、奇抜な色よりモノトーンやアースカラーをワントーンで組み合わせる人が多かった。

CONTENTS

地域別ファッションの特徴	3
モックネック <i>Mock Turtle</i>	4
ニットベスト <i>Knit Vest</i>	6
ワイドパンツ <i>Wide Pants</i>	8
ニットパンツ <i>Knit Pants</i>	10
ベレー帽 <i>Beret</i>	12
アースカラー <i>Earth Color</i>	14
ナップサック <i>Knapsack</i>	16
ダニエル・ウェリントン <i>Daniel Wellington</i>	17
ロブ <i>Lob</i>	18

TOKYO STREET STYLE 2015 AUTUMN

地域別ファッションの特徴

東京のストリートファッションを観察し発信している web サイト「style-arena.jp」。原宿、渋谷、表参道、代官山、銀座という、テイストが異なった5つのエリアのストリートスタイルを掲載し、リアルなファッションの動きや流れを伝えている。

現在は以前とは違い、地域別ファッションの特異性というものは薄まりつつある。それでもまだ地域毎に根付いているファッションスタイルがあり、“違い”を感じる事ができるのも事実。このレポートではその違いについてもお伝えできればと思っている。

原宿

セオリーを無視したバランス感覚。

バランスや感覚に優れた若者が多く、モード、カジュアル、トラッドなどのスタイルを融合した、いい意味でセオリーを無視したスタイルを生み出している。また、原宿は東京で一番古着屋が集まっている街。ほとんどの人が古着を取り入れ、個性的なファッションが見られる。



渋谷

この街を見れば、日本の女性の“今”が分かる。

流行の移り変わりが最も激しい街。流行のブランドに集中した結果、似たようなファッションスタイルをよく見る事が多い。“流行はあるが個性がない”のが渋谷。しかし常に新しい物を求め、敏感に探し、纏っているのが渋谷だ。この街を見れば、日本の女性の“今”が見えてくる。



表参道

スマートでモードな洗練スタイル。

ハイブランドの路面店が並ぶ表参道では、集う人々のスタイルは特に洗練されている。基本はモノトーンを基調にしたスマートでモードなファッションで、小物使いがうまいのも特徴。無駄な物は付けず、コーディネートが足し引きの感覚が優れている。高級な物もそうでない物も、等身大で飾らずにスタイリングできるセンスを持ったエリアだ。



代官山

流行に流されない個性派が集う街。

雑貨屋や古着屋で買ったノーブランド服や小物を身につけている人が多い。また、人と同じファッションを嫌う人も多く、流行に流されにくい。特定のショップやブランドにも強い拘りを持たず様々なショップをまわって同じブランドが重ならない。原宿とは違う個性がある魅力ある街だ。



銀座

ラフさと高級さが同居した上品スタイル。

全体的には年齢層が若干高めで、上品で落ち着いた雰囲気を持った人が多い。ラグジュアリーブランドのバッグや時計を身につけている人も多いが、それでも全身を高級品で固めている人は少ない。ファストファッションのブランドをMIXして決して嫌らしくならず、ラフさと高級さを同居したスタイルに仕上げている。



モックネック *Mock Turtle*



緩やかに“深化”する ハイネックトップス

首詰まりアイテムの中で、ここ数年トレンドとなっている「タートルネック」。けれども今年は、タートルネックから“深化”した「モックネック」に注目が集まった。タートルより襟元が短いアイテムで、「モックネック」とは「モックネックタートル」のこと。このモックネックは“タートルネックのまがいもの”という意味になる。襟元の、高すぎず低すぎない、ちょうど良い高さで、首元が短めなので、着やすいというのが人気の理由だ。

ストリートでは、シンプルな無地のアイテムが主流。Tシャツやニットなど、定番のシンプルなノーカラーアイテムも、モックネックのものをチョイスすることで、ラフすぎない“きちんと感”を取り入れる人が増えた。首元のボリュームがおさえられ、スッキリと見えるので、どんなアウターとも相性がいいのもポイント。





ニットベスト *Knit Vest*

迷ったらコレ！
“とりあえず買い”はニットベストで
決まり

この夏、スタイルアーリーナのスナップでも多く見られたのが“ニットベスト”。夏場はガウチョパンツを合わせたコーデが王道ともなっていたが、この秋にも十分にその力を発揮した。

ニットベストというと、すっきりとした“大人なイメージ”を持っている人も多いのではないだろうか。実際、この夏のストリートでは銀座の着用率が最も多く、次いで表参道という結果となっていたが、9月、10月でも銀座や表参道で多く見られる結果になった。

夏にはピッタリで、履くだけで今っぽい 2015 年最旬アイテムとなった。





ワイドパンツ *Wide Pants*



新定番 ワイドパンツを攻略

今年の夏、大流行した「ガウチョパンツ」。70年代風のファッションがトレンドとなり、ミモレ丈が定番に。履きやすく、お洒落に見える上に、簡単にスタイルアップできるという魅力に惚れ込んだ女子が多かった。今季はこれまでのコーディネートではスカートしか選ばなかったようなフェミニンなスタイルにも、ワイドパンツが取り入れられている。柔らかで落ち感のある素材のものをを選び、女性的な印象にすることで、フレアスカートのような感覚でワイドパンツを取り入れる人が増加した。

また、丈のおかげでボリュームのあるシューズとの合わせも野暮ったく見えず、軽快な印象に。レザーシューズやスニーカーなど、どんな靴にも合わせられる。トップスがシンプルになる夏、ボトム丈感を極められれば、一歩上の洗練されたコーディネートが手に入る。





ニットパンツ *Knit Pants*

NEW ガウチョはニット素材

今年大流行したガウチョパンツだが、この秋、その流れに一つの変化が現れた。それは「ガウチョのニット化」。

今まであまり見られることのなかった“ボトムでニット”。現在は長め丈×長め丈を合わせた“ゆるざる”スタイルが主流で、そのスタイルにハマったニットガウチョはマストアイテムとなった。

ラフに見える点がデメリットだが、「つば広ハット」、「ヒール靴」など合わせる小物を“カッコリとしたもの”で統一することでクリアしていた人が多かった。





ベレー帽 Beret



打倒つば広! ベレー帽が迫る

毎年冬が近づくと必ずと言っていいほど街中に溢れる“つば広ハット”。今年は真夏でもフェルト素材の物を身につけている人がちらほらと見受けられたことからその絶大な人気を読み取れる。しかし、その独走状態に待ったをかけたのが「ベレー帽」。

“存在感”というよりは、さりげなく寄り添うイメージのベレー帽。「やりすぎないけどアクセントになる」そんな使い勝手の良さが人気の秘密。少し前までは“レトロ”や“お嬢様”といった、いわゆる“女の子らしい”格好に合わせるのが主流だったが、今年は、はずしとしてモードスタイルにも用いられているのが印象的。中でも、大きめのベレー帽が人気だった。

フェルト素材のスタンダードなものからふわふわとしたファー素材のもの、トレンドの“アースカラー”であるベージュなど、素材や色の広がりの上に、価格帯も様々なので、身の丈にあったものを選べるのも大きな魅力だった。





アースカラー *Earth Color*

マストハブはアースカラー

秋のストリートファッションを見ると、WHITE、BLACKにBLUE / NAVYが継続している中で、確実にKHAKI、BEIGE、CAMEL、BROWNなどの『アースカラー率』が高まった。

この秋に人気が出た理由は、“手軽に秋感をだせる”ところ。自己主張が抑え目な色味であるため、取り入れやすいのが魅力。ストリートではアースカラーで全身の色味を統一した、ワントーンコーデにチャレンジしている上級者も目立った。コーディネートに締めきりを出すため、ベルトやハットなどの小物を黒で差し入れるテクニックも多く見られた。





ナップサック *Knapsack*



今年のバッグは、ナップサックがちょうどいい

ストリートの定番バッグの一つ、バックパック。両手が空いてたくさん収納できる機能性に加え、デザインも豊富な最強のカジュアルバッグだ。ただ、最近の“コンフォート”を求めるトレンドのなかで、バックパックに代わる意外なアイテムを持つ人が増えているようだ。

それは何とナップサック。子供のころに学校に持っていった印象が強い人も多いかもしれないが、今これがストリートでは支持されている。軽くて持ちやすい“コンフォートさ”に加え、スポーティなルックスが最近のスポーツミックスブームとマッチしているようだ。

ナイキやアディダスといったスポーツメーカーのものはもちろん、今季はマルニなどのラグジュアリーブランドもナップサックをラインアップ。カジュアルだけでなく、モードスタイルの外しにも使える旬なアイテムだ。



ダニエル・ウェリントン *Daniel Wellington*

時流に乗ったミニマルな逸品

2011年に設立されたスウェーデン発の「ダニエル・ウェリントン」。誕生からわずか2年で売上本数1億5000万本を超え、北欧で大ヒットしたウォッチブランドだ。現在、アメリカやノルウェーなど25カ国950店舗を構えており、2014年に日本に初上陸して以来、日本でもそのスタイリッシュなデザインに大きな注目が集まっている。

ダニエル・ウェリントンの特徴となっているのが、何と言ってもベルト部分の付け替えができるということだ。クラシカルなレザーベルトと、プレッピーなNATOベルトで迷う方も多いのではないだろうか。

ストリートでもそのユニセックスなデザインが人気を博し、男女問わずダニエル・ウェリントンを身につけている人が多い。バリエーションの豊富さから、ベルトやフェイスにその人のセンスが現れる時計として、これからも要チェックになっている。



ロブ Lob



最旬ヘアはヘルシーな“ラブ髪”

その人の美意識が最もあらわれるのがヘアスタイル。ファッション好きの女子たちには、毎朝かなりの時間をかけて髪をセットするという人も多い。ただ、最新のストリートではレディースヘアスタイルに意外な変化が…。

それが、あえてセットしすぎないラフなヘアスタイルの流行。コテを使ったきれいな内巻きや切りそろえたバンクではなく、素のくせ毛を活かしたナチュラルヘアやメンズのようにかき上げたラフなバンクを作る女子が急増している。

ロングも、「ボブからロング目指して伸ばし中」のような中途半端な長さが逆に可愛いという人が増えている。そこには、作りすぎない“自然さ”が、今の女子のキーワードのようだ。





● 「style-arena」 アンケート結果から

「style-arena」秋シーズン（9月～11月）における掲載モデル一人一人にお答えいただいたアンケート結果の一部をご紹介します。

Q. 毎月どれくらいファッションにお金を使いますか？（渋谷・銀座の男性は数が少なく省略）

- 原宿／女性 : 30,100円（50名平均／最高金額75,000円 以下同）
原宿／男性 : 35,000円（11名／65,000円）
- 渋谷／女性 : 30,900円（67名／150,000円）
- 表参道／女性 : 40,600円（35名／100,000円）
表参道／男性 : 50,000円（13名／150,000円）
- 代官山／女性 : 37,400円（46名／100,000円）
代官山／男性 : 48,000円（5名／100,000円）
- 銀座／女性 : 34,300円（49名／150,000円）

Q. 好きなブランドは？／回答数が多い順のTOP3（末尾は全回答数）

- 原宿／女性 : ①「TOGA」②「COMME des GARÇONS」・「Kastane」・「MARNI」・「Vivienne Westwood」（75）
原宿／男性 : ①「ACNE STUDIOS」以下複数回答なし（18）
- 渋谷／女性 : ①「ZARA」②「moussy」③「OPENING CEREMONY」（98）
- 表参道／女性 : ①「TOGA」②「COMME des GARÇONS」・「mame」（以下分散／73）
表参道／男性 : ①「ACNE STUDIOS」（以下分散／28）
- 代官山／女性 : ①「I am I」・「TOGA」②「KBF」・「YAECA」・「ZARA」（86）
代官山／男性 : 複数回答なし（8）
- 銀座／女性 : ①「ZARA」②「JILL STUART」（以下分散／86）

Q. よく行くショップは？／回答数が多い順のTOP3

- 原宿／女性 : ①「HUG」②「Flamingo」・「Santa Monica」（78）
原宿／男性 : 複数回答なし（16）
- 渋谷／女性 : ①「ZARA」②「FOREVER 21」③「H&M」（104）
- 表参道／女性 : ①「ZARA」②「I am I」・「OPENING CEREMONY」・「STUDIOUS」・「UNITED ARROWS」（69）
表参道／男性 : ①「ACNE STUDIOS」・「ISETAN」（以下分散／32）
- 代官山／女性 : ①「OPENING CEREMONY」②「ZARA」③「Santa Monica」（86）
代官山／男性 : 複数回答なし（9）
- 銀座／女性 : ①「ZARA」②「GALLARDAGALANTE」③「BEAMS」・「LUMINE」（101）

TOKYO STREET STYLE 2015 autumn

●東京のストリートファッションを紹介する、一般財団法人日本ファッション協会のファッションサイト「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)は、若者のファッションを牽引する「渋谷」「原宿」「表参道」「代官山」の4地点に、「銀座」を加えて、“東京のストリートファッション”を13年にわたって世界に紹介を続けてきました。現在、「style-arena.jp」は毎月400万ページビューのアクセスがあり、その半分強は海外からの訪問者となっています。

本編は、この「style-arena.jp」から、2015年秋(9月～11月)に掲載されているスタイルを分析し、トレンドをまとめたレポートです。

個別の詳細は「style-arena.jp」(<http://www.style-arena.jp/>)にて閲覧ください。

JFA 「style-arena」 Report 2015 autumn

2016年3月発行

■ 解説 企画事業部 情報発信事業
ディレクター 嶋田 有樹

■ 発行 一般財団法人 日本ファッション協会
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-5-1 神保町須賀ビル 7F
TEL. 03-3295-1311 FAX. 03-3295-3295 E-mail info@japanfashion.or.jp